



▲当社の本社工場外観

○本社所在地：福岡県筑前町

○事業概要：鉄骨製作・建方工事

○常時使用する従業員：22名
(2025年6月時点)

○現在の売上高：16億円

(2025年6月期)

○法人番号：4290001044055

○Web：<https://www.sankyo-fab.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役
北原 学

【企業理念】「産業インフラを鉄で支える」

当社は1965年の創業以来、九州・山口エリアの産業インフラを支える鉄骨製造事業者として、図面作成から加工、建方までを自社完結する一貫施工体制を構築してまいりました。「産業インフラを鉄で支える」という企業理念のもと、60年間で培った信頼関係を基盤に、地域になくてはならない企業として成長を続けてきました。この度、2035年に売上高100億円を達成する目標を掲げ、「西日本を代表する構造エンジニアリング企業」を目指します。新工場建設とHグレード認定取得による生産能力倍増と大型案件への参入、さらにはSグレード取得とM&A多拠点戦略により、地域の安全で持続可能な社会基盤づくりの中核的担い手として、九州・西日本エリアの産業インフラ整備に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

- 2035年の売上高100億円達成後の目標売上高110億円達成に向け、2025年から2035年にかけて、CAGR約21%の成長を実現する
- 新工場建設とHグレード認定取得により、月産生産能力を倍増させ、1,000～2,000トン級大型案件への参入を実現する
- Sグレード取得とM&A多拠点戦略により、月産3,000トン体制を確立し、関西・関東への広域展開を実現する

課題

- 現在のMグレードでは大型物流倉庫やTSMC関連工場の主要構造部材に参入できず、九州建設市場の歴史的好機を取り逃がす懸念がある
- 単一工場による物理的キャパシティ限界と外注依存により、繁忙期の外注費比率が上昇し、利益率が圧迫されている
- 熟練溶接工の高齢化と技術の暗黙知化により、「背中を見て覚える」方式では人材育成が非効率となっている

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 延床面積約3,000m²の新工場建設と20t溶接口ボット等の大型設備導入により、月産生産能力を倍増させる
- 2027年を目途にHグレード認定を取得し、1,000～2,000トン級大型物流倉庫・TSMC関連工場等の主要構造部材市場へ参入する
- トレーサビリティシステム導入と「三協アカデミー」創設により、属人の技術継承から組織的育成体制へ転換する
- 福岡県内を中心とした後継者不在の同業他社のM&Aを進めて月産3,000トン体制を確立すると共に、Sグレード認定を取得し、超高層ビル・巨大プラント市場へ参入する

実施体制

○社内体制

- 新工場建設プロジェクト会議による進捗管理と、経営会議による投資判断・リソース配分の迅速な意思決定体制を構築
- 営業エリア拡大や新規取引先確保に向けた営業体制の組織化

○社外体制

- 取引先金融機関との月次モニタリング体制による成長資金の調達と財務管理体制の構築
- 鋼材商社や協力企業との連携による安定的な材料調達とサプライチェーンの強化